



## 新しい教科書とキャリア教育

北川小学校 校長 長友 久満

先日、3年生の国語の授業を参観しました。「仕事のくふう、見つけたよ。」という单元名でした。学習の目標は、文章の組み立てを考えて報告文をつくるということで設定してありました。一人一人、一枚の用紙にある仕事について、なぜその仕事を調べようと思ったのか、その仕事の内容や工夫や苦労、思ったことを上手にまとめていました。調べようとしたきっかけは、多くは父親や母親がその仕事をしているからだったようです。子どもたちは、まとめた用紙を使いながらみんなの前で懸命に発表していました。聞いていた児童からは、発表の仕方のよかった点・改善点など意見を言っていました。ただ、最後になるとなぜか、「あなたは、将来、その仕事をするのですか。」とかなり厳しいとも思える質問をしていました。車の整備士を発表した男の子は、「まだ、考えていません。」と言っていました。看護師について発表していた女の子は、「はい、お母さんと一緒に働きたいです。」と答えていました。子どもたち同士で将来の仕事について考えている場面もありました。新学習指導要領が始まって、新しい教科書となりました。キャリア教育にかかる学習内容が、いろいろ配置されていると思われます。今後、教科書をひもといてみたいです。



## 子どもの自立に向けて

南小学校 校長 釘宮 剛

学校の役割はと問われたら、やはり子どもたちの自立、社会に出た時に一人立ちができることだと答えています。

AI の急激な進歩、世界規模の新型コロナウイルス感染症の流行、今の子どもたちが大人になっ

た時の社会は、予想もつかないくらい大きく変化していることでしょう。しかし、時代が大きく変化しても、一人立ちができるということは、周りの人や環境と折り合いを付ける力、困難にあっても乗り越える強さ、そして、何よりも普段の生活の中に生きがいや幸せを見つける生き方などを身に付けていくということではないかと思います。

だからこそ、目の前のことにとらわれるだけでなく、小学校時代から、キャリア教育の視点に立った生き方教育を、学校は積極的に進めていく必要があると考えています。



## ～キャリア教育実践交流会～

9月の実践交流会は、オンライン(ZOOM)で行います。  
オンライン体験を兼ねて、是非ご参加ください。お待ちしております。

1. 日時 9月17日(木) 19:30～20:10

2. 内容 オンライン体験、意見交換 等

3. 申込 申込アドレス(y351akre@ma.wainet.ne.jp)当日 18:30 までにメール送信にてお申込みください。



## 我が青春のフロイデ・コール

上南方小中学校 校長 山本 琢也

「フロイデ・コール」とは、私が学生時代に所属していた男声合唱団の名称です。団員約 60 名、合唱経験者の少ない素人集団でしたが、全日本合唱コンクール全国大会に出場するなど、輝かしい実績がありました。私は、青春時代、この「フロイデ・コール」で、今に役立つ数多くのことを学びました。また、学校の先生になろうと決めたのも、妥協を許さず、高みへとリードする先輩方への憧れや、苦楽を共にした同級生からの影響が大きかったと思っています。小・中・高等学校を巡る夏の演奏旅行やハーモニーに磨きをかけた合唱コンクール、そして、年に一度の定期演奏会。次から次にイベントがやってくる中、それぞれの演奏会を成功に導くために、日々の合唱練習はもちろんのこと、演奏会を開くための資金づくりや深夜にまで及んだ企画、運営のための役員会など、「フロイデ・コール」の目指すメンタルハーモニーを、一途に追求していました。「フロイデ・コール」、それはまさに、私にとってのキャリア教育でした。



## 「やりがい」

南浦中学校 校長 柳田 英人



「やりがい」という視点で教職生活 35 年間を振り返ってみると、その一つは「中 3 の学級担任」をしていた時ではないかと考えます。その理由は、生徒にとって 15 年間生きてきた中で、初めて大きな選択を迫られる「進路先の決定」があります。その初めての分岐点に担任として関わることができることに喜びとやりがいを感じていました。また、一年間の締めくくりである卒業式で生徒の呼名ができるのも、それまで密接に関わってきた担任として、教師冥利に尽きるのではないのでしょうか。「お金では買えないものがある」これが教師としての「やりがい」ではないかと私は思います。

私が今を生きる子どもたちに、将来を生きていく上でメッセージとして送りたいのが、この「やりがい」です。最初から「やりがい」が見つかるような仕事はないかもしれませんが、夢中で仕事をやっている、きっと「やりがい」を見つけることができるでしょう。

### ～令和 2 年度第 1 回キャリア教育支援センター等連絡協議会～

県内のキャリア教育支援センター（県・日向市・延岡市・小林市・日南市・高鍋町）と中部教育事務所、宮崎大学（産学・地域連携センター）の合同連絡協議会が、県教育研修センターで行われました。コロナ禍の中で今後どのように活動を推進していくのか、また、各センターの取組概要・今年度の活動計画など、活発な意見交換ができ、大変有意義な研修となりました。

【協議会の様子】



## 延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0824 宮崎県延岡市中央通 3-5-1 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☎ 080-4002-8167 敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539 酒井康行 ☎ 090-2587-7837  
✉ mizmas228@gmail.com ✉ sate815@ma.wainet.ne.jp ✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp